

毎月第3金曜日は川西市の「人権デー」です！



「平和」について考えてみましょう。



2025(令和7)年は、被爆・終戦80年です。

2024年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた『日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会』が受賞しました。

しかしながら今、世界では、「イスラエル(米国)とイラン」、「イスラエルとパレスチナ・ガザ地区」、「ロシアとウクライナ」など、戦争のニュースが連日なされています。

さらに6月25日、米国大統領は、イランの核施設に対する自軍の空爆を広島と長崎への原爆投下になぞらえ、「本質的に同じものだ。あれが戦争を終結させた」と語りました。

核兵器による唯一の被爆国である日本国民として、非核平和都市宣言の川西市として、原爆投下を正当化するこれらの発言は決して許容できるものではありません。

私たちは、核兵器廃絶はもとより、最大の人権侵害である「あらゆる戦争」の廃絶を、国連も含め、求めていく必要があるのではないのでしょうか。

※↓川西市の「非核平和都市宣言」

川西市の平和モニュメント「^{どう}睦」
※川西能勢口駅前に設置されています



ひかくへいわとしせんげん 非核平和都市宣言

世界中の人々が等しく平和な暮らしを営むことは、人類共通の願いです。
それにもかかわらず、地球上の全生命を滅ぼしてもなお余るほどの核兵器が蓄積され、世界の平和に深刻な脅威を与えています。

わが国は世界で最初の核被曝国として、核兵器と戦争の恐ろしさを全世界に訴え、その惨禍を絶対に繰り返させてはなりません。

私たちは祖先から受け継いできた猪名川の清流、豊かな緑、そして人類共通の財産である青く美しい地球を永遠に守り続けていくためにも、核兵器をつくらず・持たず・持ち込ませずの「非核三原則」を遵守するとともに、恐るべき核兵器の廃絶を願い、人と人との憎しみあい傷つけあうことのない世界の創造を求めて、ここに市民の総意のもと、川西市を「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元年(1989年)7月14日 川西市

特設人権相談 (予約優先・無料)

★7月18日(金)
★8月15日(金)
★9月19日(金)

時間は全て午後1時～4時
市役所で人権擁護委員が相談をお受けします。

◇問い合わせ・予約
人権推進多文化共生課 TEL 740-1150



総合センター (予約不要・無料)

人権啓発ビデオ上映会



★7月16日(水) (①15時30分～)

作品:「一つの花」アニメ (23分) ※平和問題

★7月18日(金) (①10時～ ②13時～ ③16時～)

作品:「涙に浮かぶ記憶～戦争を次世代へ伝えて～」(28分)

◇問い合わせ 総合センター TEL 758-8398